

株主のみなさまへ

株式会社 安川電機 第100期事業ご報告

2015年3月21日 ▶ 2016年3月20日

(証券コード：6506)

Contents

株主のみなさまへ	1
Dash 25	3
事業案内	4
セグメント別の概況	5
トピックス	10
業績の推移	12
株式の状況	13
会社の概要	14



このたび、代表取締役社長に就任いたしました小笠原 浩です。就任にあたり、株主のみなさまに謹んでご挨拶申し上げます。

まずはじめに、熊本県および大分県を中心に発生した地震により、被災されたみなさまには心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

当社は長期経営計画「2025年ビジョン」を掲げ、中期経営計画「Dash 25」を本年4月に始動いたしました。これらの計画を基に、既存事業の受注拡大に努め、環境・エネルギー分野のコア事業化を加速させると同時に、開発力・生産力・販売力のさらなる強化や、新規事業の創出に注力してまいります。

これからの時代は、インダストリー4.0^{*1}やIoT^{*2}といったIT化の流れが加速するなか、新しい技術や優れたビジネスモデルを生み出す技術革新が興る可能性を秘めております。当社の強みを最大限に発揮し、このような状況をチャンスに変えていくことで、新たな成長戦略の実現に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

^{*1}：「Industrie4.0」ドイツ政府が提唱した第四次産業革命のコンセプト
^{*2}：モノのインターネット。Internet of Thingsの略

2016年6月
代表取締役社長 小笠原 浩

プロフィール 1979年 安川電機製作所 [現 (株) 安川電機] に入社後、インバータ事業部長、モーションコントロール事業部長などを務める。2015年より代表取締役専務執行役員 技術開発本部長を経て、2016年3月に代表取締役社長に就任。

■決算の概要 (連結)

当期における当社グループを取り巻く経営環境は、中国を中心とした新興国経済が下期にかけて失速したことに加え、年明け以降に為替が円高方向に推移するなど、先行きの不透明感が強まりました。しかし、全体としては米国・欧州を中心とした先進国の堅調な需要に支えられ、底堅い推移となりました。国内についても、新興国の景気下振れに伴う影響が懸念されたものの、企業収益の改善や設備投資の緩やかな増加傾向もあって、海外同様に底堅く推移しました。

このような状況下、当社グループは新規事業領域の開拓や新製品の積極投入による競争力・採算性の向上により、事業の拡大を図ってまいりました。

この結果、当期における当社グループ業績は、売上高

4,112億60百万円(前期比2.8%増)、営業利益367億30百万円(同16.5%増)、経常利益358億33百万円(同5.8%増)、当期純利益223億65百万円(同9.9%減)となり、売上高、営業利益および経常利益は過去最高を更新しました。

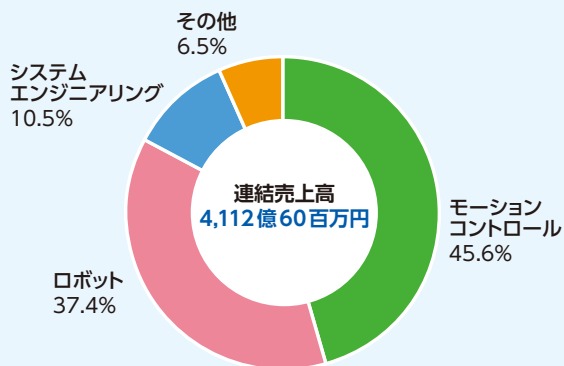
●売上高



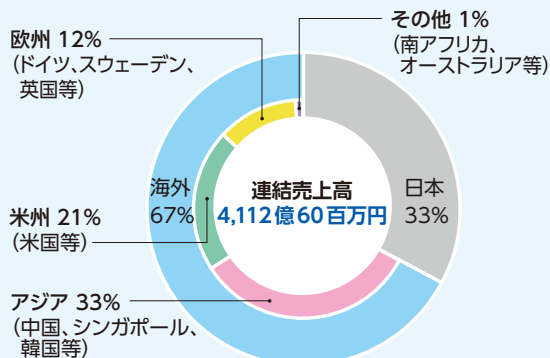
●営業利益



●売上高のセグメント別内訳



●売上高の地域別内訳



中期経営計画「Dash 25」

■ 中長期的な会社の経営戦略

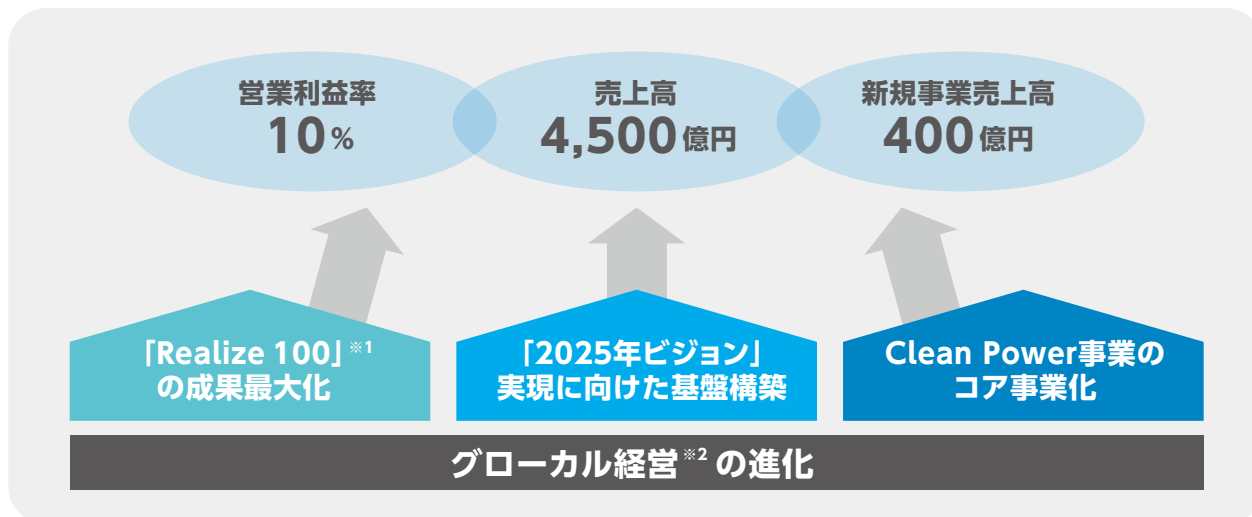
新長期経営計画「2025年ビジョン」(2016年度～2025年度)実現のための最初のステップとして、スタートダッシュの意味を含めた、新中期経営計画「Dash 25」(2016年度～2018年度)をスタートさせました。

「Dash 25」の数値目標

	2015年度実績	2018年度目標
売上高	4,113億円	4,500億円
営業利益	367億円	450億円
営業利益率	8.9%	10.0%

[参考] 2015年度実績為替レート 1米ドル=121円、1ユーロ=133円
2018年度前提為替レート 1米ドル=110円、1ユーロ=125円

I 基本方針



※1 Realize 100：前中期経営計画(2013年度～2015年度)

※2 グローバル経営：グローバルな発想の経営に加え、世界中どこでも地域に根ざしたベストな対応ができる体制

II 重点方策

- ① 「Realize 100」の成果最大化
 - ・「Realize 100」での投資成果の確実な刈り取り
 - ・新製品リリースによる売上拡大・利益率改善
- ② 「2025年ビジョン」実現に向けた基盤構築
 - ・コア事業領域で世界一を追求するための新たな仕掛け
 - ・新領域・新ビジネスモデルへの挑戦
- ③ Clean Power事業のコア事業化
 - ・「創」エネ・「活」エネ事業のグローバル展開加速
- ④ グローバル経営の進化
 - ・グローバルにおける組織能力・人材力を強化

事業案内

確かな技術と多くの信頼に支えられて創立100周年

当社は1915年の創立以来、「事業の遂行を通じて広く社会の発展、人類の福祉に貢献する」という経営理念に基づき、常に時代の主力産業を支え続けてきました。現在は、「モーションコントロール」「ロボット」「システムエンジニアリング」の基幹事業を軸に、世界最高水準の技術力とノウハウを駆使し、産業と社会の発展に貢献しています。

高性能・高生産性の機械システムを構築する

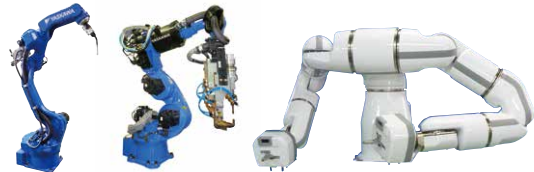
モーションコントロール ▶P.5



- No.1 ACサーボドライブ世界シェアNo.1**
累計出荷台数*1,000万台突破(2012年3月) *ACサーボモータ
- No.1 インバータ世界シェアNo.1**
累計出荷台数2,000万台突破(2014年2月)

生産現場の自動化に貢献する

ロボット ▶P.7



- No.1 産業用ロボット世界シェアNo.1**
累計出荷台数30万台突破(2014年9月)

豊かな暮らしと社会を支える

システムエンジニアリング ▶P.9



その他 ▶P.9

情報関係事業、物流サービス等

セグメント別の概況

■モーションコントロール

世界のニーズにこたえる
モーションコントロール事業

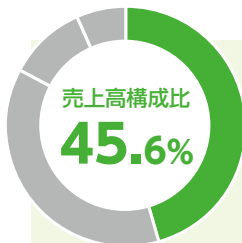
当セグメントには、ACサーボモータ、コントローラ、インバータなどの製品があります。ACサーボモータ、コントローラは電子部品や半導体部品などの高い精度が求められる生産機器に組み込まれています。インバータはエアコン、洗濯機、エスカレーターなどに利用され、きめ細かなモータ制御によって、省エネにも大きく貢献しています。また、再生可能エネルギーの利用に不可欠な太陽光発電用パワーコンディショナにも取り組んでいます。



GA700

Σ-7シリーズ

Enewell-SOL P2H



事業の業績

ACサーボモータ・コントローラにおいては、中国経済の減速影響などを背景とし、スマートフォンに関連する設備投資の需要回復に遅れが見られましたが、米国を中心に工作機や半導体市場向けの販売が好調に推移し、売上はおおむね堅調でした。また、新製品「Σ-7シリーズ」への切り替えが進んだため、収益性が改善しました。

インバータにおいては、米国におけるオイル・ガス関連や中国のインフラ関連市場において需要の低迷が継続したものの、米国子会社 Solectria Renewables, LLC が太陽光発電用パワーコンディショナの売上を伸ばしたため、総じて堅調に推移しました。この結果、前期比で売上高は横ばいとなり、営業利益は増加いたしました。

売上高

1,875億48百万円

前年同期比 0.3%減



営業利益

224億13百万円

前年同期比 3.1%増



主要製品

- ACサーボモータ
- 工作機械用AC主軸モータ
- リニアモータ
- 各種モータ制御装置
- マシンコントローラ
- ビジョンシステム
- 汎用インバータ
- 太陽光発電用パワーコンディショナ
- EV用モータドライブシステム
- 電源回生コンバータ
- マトリクスコンバータ

新製品

YASKAWAが誇る最高品質の系譜を受け継いだ

次世代インバータ GA700 を発売

次世代インバータ新シリーズ第1弾のGA700は、安川の誇る最高品質の系譜を受け継ぎ、「多才」「使いやすさ」「安心」をコンセプトに生まれ変わりました。新モータ制御による高効率化、周辺機器を取り込んだシステムのコストダウン、世界中どこでも使える優れた環境適合性により、お客さまが抱える課題に最適な“答え”をお届けします。

新シリーズ製品はGA700に留まらず、アプリケーション別製品を2016年以降順次リリースし、あらゆる市場のお客さまに最適な付加価値を付けていきます。

主な用途

- 大形クレーン
- コンプレッサ
- プレス機械
- 射出成形機
- 押出機



新製品

太陽光・小形風力発電など、更なる再生可能エネルギーの普及をめざして

Enewell-SOL P2H (9.9kW 200V級 三相)、[Enewell-WIN] シリーズを発売

Enewell-SOL P2の機種展開として、高周波トランス絶縁方式を採用したEnewell-SOL P2H (9.9kW 200V 三相) を販売開始。外部に商用トランスを別途設置することなく三相200Vでの連系が可能となり、システムの簡素化とコストダウンを実現しました。

太陽光発電への過度な集中を避け、他の再生可能エネルギーの普及に力を入れる政府の後押しを背景に、小形風力発電用パワーコンディショナ「Enewell-WIN」シリーズを新たにラインアップしました。



Enewell-SOL P2H (9.9kW 200V級 三相)

主な特長

- 高周波トランス絶縁方式を採用
- コンパクトなサイズを実現
- 高い環境性能
- 簡単操作&簡単メンテナンス



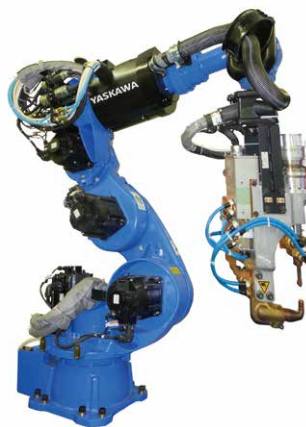
Enewell-WIN
(4.5/5.8kW
200V級 単相)

セグメント別の概況

■ロボット

新たな挑戦を続け
進化するロボット

当セグメントを構成する産業用ロボットは、自動車関連市場を中心に、さまざまな産業分野において溶接、塗装、組立、搬送などの自動化に貢献しています。ロボットを構成する機械部品やコントローラなどを自社開発しており、高度化するお客さまの要求にきめ細かく対応していくことで、トップメーカーの地位を築いています。



MOTOMAN-VS100



MOTOMAN-SDA10

売上高構成比

37.4%

事業の業績

溶接・塗装ロボット等の主力製品を展開する自動車関連分野においては、中国市場の落ち込みにより年明けから競争環境で厳しさが増したものの、先進国を中心に旺盛な需要が継続したことから、収益性は大幅に改善するなど好調に推移しました。また、お客様やシステムインテグレータ*がロボットの新たな活用を検討・検証する施設としてロボットセンタをグローバルに展開し、食品産業をはじめとした自動車関連以外の一般産業分野へロボットの適用範囲を拡大させるなど、積極的な販売活動に注力しました。この結果、前期比で売上高、営業利益ともに大幅に増加いたしました。

*システムインテグレータ：複数の個別システムを正しく動くように1つにまとめ上げる企業のこと。

売上高

1,540億68百万円

前年同期比 13.3%増 

営業利益

153億4百万円

前年同期比 44.9%増 

主要製品

- アーク溶接ロボット
- スポット溶接ロボット
- 塗装ロボット
- ハンドリングロボット
- シーリング・切断ロボット
- バリ取り・研磨ロボット
- 半導体・液晶製造装置用クリーン・真空搬送ロボット
- ロボット周辺機器
- ロボット応用FAシステム
- バイオメディカル用途対応ロボット

開発

驚くほど高速で、正確無比な高精度を実現

新小型ロボット MOTOMAN-GPシリーズの開発

近年の更なる生産性向上の必要性を背景に、小型ロボットにはコンパクトな設置性を確保しながらの可搬質量の増加やさらなる高速・高精度化が求められています。当社はこれらのニーズに応えるため、メカ構造を刷新し、動作性能を格段に向上した小型ロボットMOTOMAN-GPシリーズと、グローバルのニーズに応えるロボットコントローラYRC1000を開発しました。新たな制御方式を採用し、世界各地域で異なる電圧・安全規格・要求仕様へ対応。グローバル統一サイズを実現した新コントローラYRC1000の同時開発により、ロボットのパフォーマンスを最大限に引き出します。

主な用途

- 自動車・機械関連部品、携帯電話、パソコン関連、家電機器などを主とした組立・搬送・研磨用途



MOTOMAN-GP8

YRC1000コントローラ

開発

生産設備の新時代を開拓

人共存形ロボット MOTOMAN-HC10 を開発

従来の産業用ロボットは、安全柵の設置が義務付けられていたため専用設備となることがほとんどでした。MOTOMAN-HC10は、国際規格ISO10218-1に準拠しており安全柵の設置が不要なため、専用設備の設計・製作の必要性などの理由でロボット活用が進んでいない現場の自動化推進に貢献します。MOTOMAN-HC10は人と共存して働くことができるため、自動化設備の可能性や適用領域を拡大し、設備のさらなる自動化と生産性向上に貢献します。また、直接手で掴んで操作するダイレクトティーチング機能を備えているため、直感的な操作によるロボットへの動作指示が可能です。

主な用途

- 工作機械間のハンドリング ● 小物部品の組立作業等



MOTOMAN-HC10

セグメント別の概況

■システムエンジニアリング

世界に誇る安川電機のシステム技術

当セグメントの主な市場は、安定稼働が必須となる大型プラント設備や大型クレーン設備です。計画段階からプロジェクトに参画し、技術提案からアフターサービスまでサポートを行います。鉄鋼業界では、国内で稼働する全ての高炉に当社の制御装置が採用されており、信頼性の高いシステム提供を行っています。



永久磁石式発電機 高速タイプ



FSDrive-MX1S



事業の業績

鉄鋼プラントシステム・社会システム事業においては、需要低迷が続く中、設備の更新ニーズを捉え、拡販に努めました。また、環境・エネルギー分野では、2014年度に行ったフィンランドのThe Switch Engineering Oyの子会社化に伴い、大型風力発電関連の販売が欧州を中心に伸長しましたが、のれん償却負担などが影響した結果、前期比で売上高は増加、営業損失は横ばいとなりました。

売上高

430億53百万円前年同期比 **5.1%**増

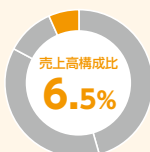
営業損失

△**7億60百万円**

主要製品

- 鉄鋼プラント用電気システム
- 上下水道用電気システム
- 各種産業用電気システム
- 高圧インバータ
- 高圧マトリクスコンバータ
- 産業用モータ・発電機
- 風力発電用コンバータ・発電機
- 小水力発電用発電機
- 電力用配電機器
- 風力発電システム
- 太陽光発電システム

■その他



事業の業績

当セグメントには、情報関連事業および物流サービス等の事業が含まれております。

売上高

265億90百万円前年同期比 **24.2%**減

営業利益

8億55百万円前年同期比 **33.1%**減

主要製品

- 情報関連製品
- 情報処理ソフトおよび付帯サービス
- OA機器
- 物流サービスほか



MMLink-1X

LIBWE加工装置



世界初! GaNパワー半導体を搭載したアンプ内蔵サーボモータを開発

世界で初めてGaNパワー半導体を搭載したアンプ内蔵サーボモータを開発。サーボドライブシステムのさらなる小型・高効率化を実現。2017年までに製品化を予定しています。

開発の狙い

製品生産現場では、省スペース化や生産性向上のため、生産設備の小型化や動作の高速化・高精度化が求められています。

アンプ内蔵サーボモータは、サーボドライブシステムのサーボパックの機能とサーボモータを一体化した製品です。GaNパワー半導体の採用でサーボパックのアンプ部（コンバータ部等は除く）を大幅に小型化したことで、従来のサーボパックのアンプ部と比較し、体積比1/4を実現しました。これにより、お客様の設備の小型化、省配線による配線費用の削減に貢献。機械・装置の位置決めの高高速化や、省エネ化も実現します。

主な特長

- (1) **高効率化**：サーボドライブシステムの損失を12%低減
- (2) **小型化**：サーボパックのアンプ部と比較し、体積比1/4
- (3) **静音化**：耳障りなスイッチング騒音を削減
- (4) **省エネ化**：回生エネルギーの有効利用



韓国ロボットセンタの設立

韓国におけるロボット事業の強化を目的に、韓国大邱(テグ)市に、100%子会社である韓国安川電機株式会社の南部支店を拡大・移転するとともに、韓国ロボットセンタを設立しました。

設立の狙い

韓国には自動車・半導体・液晶を始めとした世界でもトップシェアを誇る大手企業が多く存在し、その部品を生産する企業も含め、ロボットを利用した自動化においても先端を走る企業が多数あります。

このたび、同国市場における販売・サービス体制を更に充実させ、顧客開拓、お客様の価値創造の支援を強化するべく、韓国ロボットセンタを開設しました。現地での自動化ニーズが高い自動車、電子関連だけでなく、食品・医薬品・化粧品等、今後一層の自動化拡大余地のある産業分野のお客様へ、各種ロボットソリューションをご提案・ご提供します。

施設概要

- (1) **稼働開始**：2015年10月
- (2) **所在地**：韓国 大邱広域市 達城郡
- (3) **敷地面積**：16,530平方メートル(5,000坪)



外観



ショールーム

製品、省エネ活動が評価され「平成27年度省エネ大賞」でダブル受賞!!

製品・ビジネスモデル部門で「安川マトリクスコンバータ U1000」が最高位である経済産業大臣賞を、省エネ事例部門で「事業所再編によるロボット村の省エネ推進」が省エネルギーセンター会長賞を受賞しました。

経済産業大臣賞(製品・ビジネスモデル部門)

「安川マトリクスコンバータ U1000」

本製品は単体で電源回生とモータドライブを両立し、エレベータ、クレーン等の昇降機械の回生エネルギーを活用することで、年間消費電力量の約50%の削減を実現。この度その省エネ効果が認められ、経済産業大臣賞を受賞することができました。



省エネルギーセンター会長賞(省エネ事例部門)

「事業所再編によるロボット村の省エネ推進」

当社は“100のエコ”をテーマに本社拠点の事業所再編を実施。本社棟、ロボット工場など新旧建屋同時に省エネを推進し、その活動が認められ受賞することができました。



創立100周年事業「安川電機歴史館」がオープン

旧安川電機本社事務所の講堂を改修し、当社がこれまで開発してきた製品や創業者を含め草創期を支えた安川家の軌跡を紹介する「安川電機歴史館」を一般公開いたしました。

当社はこのたび、本社敷地内に「安川電機歴史館」を開所しました。多くの日本人建築家にも影響を与えたチェコ出身の建築家アントニン・レーモンド氏に設計を委嘱し、1954年に竣工した旧本社事務所の講堂を保存、活用するものです。館内には、安川電機のものづくりの原点となるモータの受注第一号機(1917年)や、国内初の全電気式産業用ロボット「MOTOMAN-L10」の受注第一号機(1977年)などを展示しています。合わせて、安川創業家の功績を紹介するなど、創業時から受け継がれている安川電機の「ものづくりへの志」を来場者に触れていただくだけでなく、当社従業員にも伝え、承継していきます。



国内初全電気式産業用ロボット
MOTOMAN-L10 受注第一号機



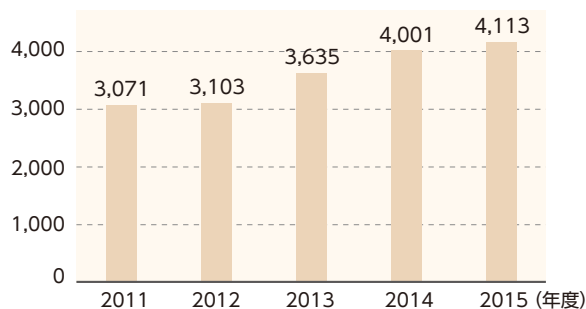
外観



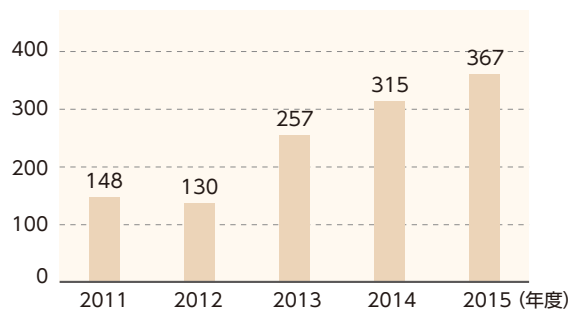
三相誘導電動機
受注第一号機(左)
VSモータ
製品第一号機(右)

業績の推移 (連結)

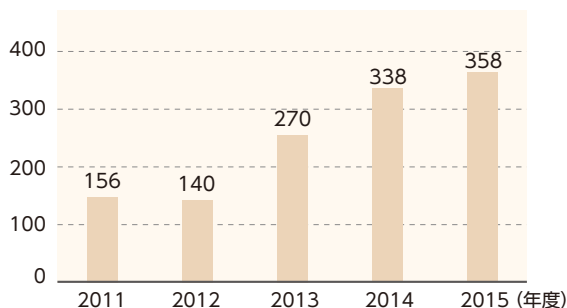
● 売上高 (単位:億円)



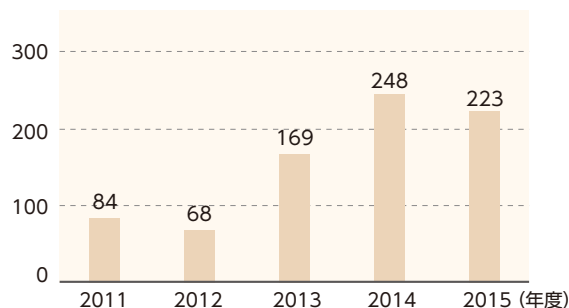
● 営業利益 (単位:億円)



● 経常利益 (単位:億円)



● 当期純利益 (単位:億円)



● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

自2015年3月21日 至2016年3月20日			
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,954	現金及び現金同等物の増加額	7,214
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 22,421	現金及び現金同等物の期首残高	24,347
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,601	非連合子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	93
現金及び現金同等物に係る換算差額	283	現金及び現金同等物の期末残高	31,656

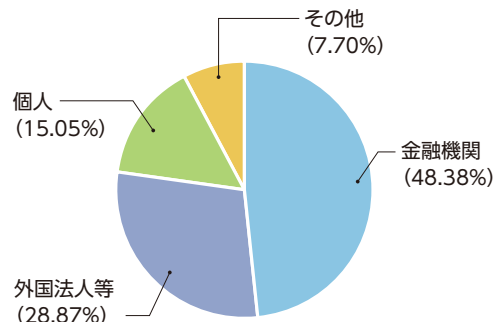
株式の状況 (2016年3月20日現在)

発行可能株式総数 …………… 560,000 千株
 発行済株式の総数 …………… 266,690 千株
 資 本 金 …………… 305億62百万円
 株 主 数 …………… 38,652 名

● 配当金情報

第100期(自2015年3月21日 至2016年3月20日)配当について		
中 間 配 当	1株につき	10円
期 末 配 当	1株につき	10円
年 間	1株につき	20円

● 所有者別株式分布状況



IRトピックス

当社では、より多くの株主・投資家のみなさまに当社のことを知っていただくため、対話を通じて積極的なIR情報の提供に努めております。その活動の一部をご紹介します。

● 機関投資家との対話

当社株式に関心のある機関投資家のみなさまの要望に応じ、個別面談や電話取材対応、国内外カンファレンスへの参加を行っています。株式市場が求める情報の提供に努めると同時に、必要に応じてその対話内容を経営陣へ報告することで、双方向コミュニケーションの充実を図っています。

● 個人投資家との対話

個人投資家向けのIRフェアなどを活用し、個人投資家のみなさまと直接対話する機会を設けています。会社概要や成長戦略などの説明を通じ、当社の理解を深めていただく活動を行っています。



※すべて2015年度の実績



個人投資家向けイベント出展の様子

会社の概要

商号	株式会社安川電機	
英文社名	YASKAWA Electric Corporation	
創立	1915年7月16日	
従業員 (2016年3月20日現在)	11,450名(連結) 2,719名(単独)	
取締役	取締役 (監査等委員である取締役を除く)	代表取締役会長 津田 純 嗣 代表取締役社長 小笠原 浩 代表取締役専務執行役員 村上 周二 取締役常務執行役員 南 善 勝 取締役常務執行役員 高宮 浩 一 取締役執行役員 中山 裕 二
	監査等委員である取締役	取締役監査等委員(常勤) 小田 昌 彦 取締役監査等委員(常勤) 野田 幸之輔 社外取締役監査等委員 秋田 芳 樹 社外取締役監査等委員 辰巳 和 正 社外取締役監査等委員 田中 靖 人
	執行役員	常務執行役員 扇 博 幸 執行役員 善 家 充 彦 執行役員 小川 昌 寛 執行役員 生山 武 史 執行役員 今 福 正 教 執行役員 熊 谷 彰 執行役員 Manfred Stern 執行役員 Michael Stephen Knappek 執行役員 森 川 泰 彦
事業所	本社 〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号 東京支社 〒105-6891 東京都港区海岸一丁目16番1号 ニューピア竹芝サウスタワー 中部支店 〒470-0217 みよし市根浦町二丁目3番地1 大阪支店 〒530-0003 大阪市北区堂島二丁目4番27号 新藤田ビル 九州支店 〒810-0001 福岡市中央区天神一丁目6番8号 天神ツインビル 工場等 八幡西事業所・行橋事業所・入間事業所・中間事業所	

事業年度	毎年3月21日から翌年3月20日まで
定時株主総会開催月 (配当金受領株主確定日)	6月 (毎年3月20日および9月20日)
公告方法	電子公告 (http://www.yaskawa.co.jp/ir/)
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

■未払い配当金のお支払い

みずほ信託銀行・みずほ銀行の本店および全国各支店にてお支払いいたします。

※みずほ証券の本店および全国各支店においても、取次ぎをいたします。

■マイナンバーのお届出 (市区町村から通知されたマイナンバーの利用範囲には株式の税務関係手続きも含まれます)

証券会社に口座をお持ちの株主さま 口座を開設されている証券会社にお問合せください。

証券会社に口座をお持ちでない株主さま (特別口座に記録されている株主さま) 下記連絡先にお問合せください。

●みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-84-0178 (マイナンバー)

■住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法のご指定、確定申告、相続に伴うお手続き等

証券会社に口座をお持ちの株主さま 口座を開設されている証券会社にお問合せください。

証券会社に口座をお持ちでない株主さま (特別口座に記録されている株主さま) 下記連絡先にお問合せください。

●みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324

■お問合わせ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

フリーダイヤル



0120-288-324

Webサイトのご案内

<http://www.yaskawa.co.jp/>

最新のニュースやIR情報、製品情報など当社をご理解いただくためのさまざまな情報をご提供しています。

安川電機

検索



QRコード



QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

YASKAWA
株式会社 安川電機

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています

UD
FONT